



令和5年度 神奈川県立保土ヶ谷支援学校 グランドデザイン

学校教育目標

- ・ 自立と社会参加に向け、児童生徒が主体的・意欲的に行動し、学び高めあう教育を推進する。
- ・ 共生社会の実現に向け、特別支援学校が地域で担う役割を模索し、地域と連携した取り組みを進める。
- ・ 多様な教育ニーズがある児童生徒の教育活動全般について、安全に実施する。

目指す子ども像

- ・ 主体的に活動する子
- ・ 自己選択・自己決定できる子
- ・ 友達と協力できる子

目指す学校像

- ・ 元気な学校
- ・ 子どもも大人も安心して力が発揮できる学校

目指す教師像

- ・ 人権を尊重する教師
- ・ 想像豊かな教師
- ・ 支えあい高めあう関係を大切にする教師

学校づくりの方針

主体的対話的で深い学びのできる授業づくり

安全で安心できる学校づくり

開かれた教育活動と地域や関係機関と連携できる学校づくり

取組み

取組み

取組み

視点

- ①教育課程、学習指導
- ②児童生徒指導、支援
- ③進路指導、進路支援

- ① 作成した「教科指導内容表」を活かした指導案で実践を重ね、小学部から高等部までの系統性を整理する。
- ② 各学部(学年)で計画的にアセスメントを実施し、個別教育計画に反映させる。
- ③ 進路の手引きの内容を職員間で共有し、各学部段階で身につけたい力と具体的な取組をまとめる。

視点

- ①教育課程、学習指導
- ⑤学校管理(事故不祥事防止)

- ① 学校全体の防災教育計画を検討し、体系化する。
- ⑤ 不祥事防止会議・研修会において、事故・ヒヤリハット事例について職員で共有する。
- ⑤ 各学部(学年)で、テーマを設定し、人権に配慮した行動に取り組む。

視点

- ②児童生徒指導、支援
- ④地域等との協働

- ② 障がい理解を推進するため、効果的な交流学习及び近隣校職員と双方向の研修を進める。
- ④ 「農園活用」「遊び場づくり」を地域との連携で進め、児童生徒の活動を充実させる。
- ④ 地域を支援する人材の育成を図る。本校の特別支援教育のノウハウを発信する。

令和5年度
目標

- 働き方改革 ~ワークライフバランスの推進~
- ⑤ 校務の効率化・縮減を見える化する。